

庁議の概要

開催日 平成 30 年 7 月 17 日（火）

◎項 目

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

◎内 容

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署等による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ スクラップアンドビルドの取り組みについて

(総務部)

新たな行政課題に対応するため、マンパワー確保の視点も踏まえ、スクラップアンドビルドの取り組みを全庁的に実施する。

具体的な取り組みとして、平成 24 年度と 25 年度に開始した事業の総点検をはじめ、休廃止やアウトソーシング、新たなシステム導入によるマンパワーの縮減が可能となる事務・事業等の見直しをお願いする。総務部からも提案させていただきたいと考えている。

(知事)

スクラップアンドビルドを前向きに捉えて、積極的に取り組んでいただきたい。

新しい取り組みを実施することは大事なことであるが、それをしっかりと実現するためには、過去の事業を見直すこともしていかなければならない。マンパワーの限界もあるだろうし、既存事業の見直しという視点を通じて新しい事業に繋がることもあると思う。

見直しは、単に仕事を止めるという後向きな仕事と捉えず、キャパオーバーや過重労働を防止するためにも大事なことであることを理解し、そういった視点を持って取り組むように。

○ 障害の特性に応じたサービス提供体制の整備と就労の促進について

(地域福祉部)

地域地域で安心して住み続けられる県づくりの一環として、ヘルプマークの普及・啓発に取り組んでいる。ヘルプマークは、難病や内部疾患、妊娠初期の方など外部から障害などが分かりにくい方が、周囲の方に援助や配慮を必要としていることを知らせることで、援助などを受けやすくするためのものである。

○ 担い手の育成・確保について

(水産振興部)

7 月 21 日に漁業就業支援フェア 2018 が大阪で開催される。

福岡、東京に次いで大阪で実施されるもので、漁師を希望する方に特化した支援フェアである。昨年は、大阪に約 250 名の希望者が集まった実績もある。

担い手育成団体も本フェアに興味を持ちだしていることや、希望者と直接面接できることなどからも漁業就業支援アドバイザー等と共に参加し、担い手などの確保に向けた取り組みを行っていく。

○ 復興、復旧への対応について
(知事)

災害対応について、各部局がしっかりと懸命に対応していることに感謝している。

しかしながら、完全に復旧・復興をするためには、暮らしや産業の再建に向けて、さらに多くの事項に取り組まなければならない。また、今回の災害で県は大きなダメージを受けており、今後発生する台風などの災害による更なる被害拡大が怖いと感じている。今後、発生が予想される災害に対して準備もしておかなければならない。今回の災害に対する復旧、復興の対応が、次の災害への備えに直結することも多いと思う。災害対応は長期戦になることを念頭に、緊張感を持った対応をよろしく願いたい。

また、観光や物流の面をはじめ、経済的な被害も非常に大きなものがある。

被災された方々の気持ちに寄り添いながら、このような被害も取り返すといった対応も大事になることから、観光PRも含め、しっかりと対応をお願いする。